

マーブリングを美しく仕上げるポイント

■水溶液

・**専用水溶液を水と1:1(プラスチックなど吸収性のない素材は2:1)でよく混ぜ合わせます**

⇒水の割合が多すぎたり、混ぜ合わせが足りないとしてしまうと、にじみや定着力が弱くなります

※絵具を垂らした時に波紋状の円の形になれば正しく、楕円や歪みがある場合は混ぜてない目安となります



対処法:

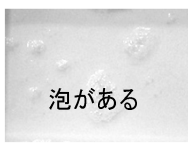
水面の絵具を新聞紙などで取り除き、再度、筆などでよく混ぜて下さい

・**混ぜ合わせた後、水面に泡がある場合は取り除きます**

⇒泡が残っていると、素材を転写した際に白い気泡が残ります



泡がない



泡がある



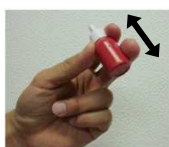
対処法:

大きい泡は串などで、小さい泡は新聞紙などで取り除きます

■絵具

・**絵具を垂らす前によく振ってからご使用下さい**

⇒絵具の中身の材料が分離してる状態で使用すると、にじみや斑点模様のような現象が起こります



・**絵具は垂らし過ぎないように丁寧に適量をご使用下さい**

⇒推奨の適量はA4サイズのバットに1色を2滴(計4色使った場合)が目安です

量が少なければ薄く、多ければ濃く仕上がりますが、あまり多く同じ色を続けて重ねますと、にじみの原因になります



●使用の目安

・6色の絵具(各10ml)を均等に使いきった場合

※4色を2滴づつ、一回で8滴使用した計算です

□A4サイズ・・・約200枚

□ハガキサイズ・・・約400枚

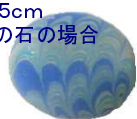
■バット

・**マーブリングを写す素材の大きさに合わせたバットをご使用することで絵具の消費を抑えます**

※絵具は同じように1滴垂らしても水溶液の水面が狭ければ濃く、広ければ薄くなります

⇒紙などの平面素材の場合はその素材がすべて収まる皿上のバットを、石や箱上の立体物は深さのある大きすぎないバットをご使用下さい

例:直径5cm
程度の石の場合



2ℓの
ペットボトル



深さ・幅はちょうど良く



バットが大きすぎるので

●水溶液の保管に関して

使用後の水溶液はペットボトルや
タッパーなどの密閉できる容器に入れて
直射日光・高温多湿を避けた場所
に保管することで**再利用が可能**です

キレイにお掃除して収納

